

令和2年は、日本書記編纂1300年です。

その日本書記に登場されます三穂津姫(村屋神社)を取り上げて町をあげてPRを計画しています。



髪飾り:作家名「みほつ姫」

マミヨ(まみよ) プロフィール

札幌出身のシンガーソングライター。古事記project副代表。プロジェクト内の全楽曲制作、コンテンツ企画・プロデュース・ディレクションを担当。ライブ活動の他、楽曲提供、ラジオパーソナリティなどでも活躍中。

【主な作品】

- ・「理由」(TBS系ドラマ主題歌)でメジャーデビュー
- ・「小さな手」(エリエールの紙オムツ「Goo.n(グーン)」)2010年度イメージソング)
- ・アニメ「蒼穹のファフナー EXODUS」 「Odyssey」作曲・編曲
- ・アニメ「18if」エンディング曲 作詞 ...etc

三穂津姫

出典: フリー百科事典「ウィキペディア」

日本神話に登場する神である。高皇産靈尊の娘で、大物主神(大国主の奇魂・和魂)の后神。『日本書紀』の葦原中国平定の場面の第二の一書にのみ登場する。大国主が国譲りを決め、幽界に隠れた後、高皇産靈尊が大国主に対し「もしお前が国津神を妻とするなら、まだお前は心を許していないのだろう。私の娘の三穂津姫を妻とし、八十万神を率いて永遠に皇孫のためにお護りせよ」と詔した。

村屋神社の主祭神である三穂津姫は、大物主の后として三本の稲穂を持って嫁いでこられました。八十万神の長である大物主は、その後、国造りの神、農工商の全ての産業の神、造酒、製菓等の神、などの大神として尊崇されています。

三穂津姫は天津国より嫁いでこられ、地域に稲作を広め富と安定を与えられました。この神話から后神として三穂津姫は、内助の功の神とされています。

村屋神社では昔より両詣りが行われ「奥さん(パートナー)も大切ですね。」と神代の時代より言われています。

YouTube



『祈り』 ミュージックビデオ→

●三穂津姫をモデルに作曲頂きました。

祈り

巡り巡る 長い歴史の中
人は祈りを幾つ重ねただろう

その魂は 遙か時を超えて
神の元まで届くでしょうか

ひらりひとひら 降りた言の葉
天の静寂に響く

大空へ翼広げ 羽ばたく鳥達よ
この祈り 彼の元へと運んでくれ
我は歌う 哀・命 募る涙の歌
今も尚 君想い恋歌う

何時しか空に 流るる茜雲
纏いて映る 彼は愛しき

偽りの無い 優しい声が
心の隙間に響く

大空へ翼広げ 羽ばたく鳥達よ
この祈り 彼の元へと運んでくれ
我は歌う 愛・命 永遠の誓いの歌
風に舞う 金の穂を揺らして

有料配信サイト→

